



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



2.28 6年生を送る会

2月28日（金）、「6年生を送る会」がありました。

1年生から5年生まで、それぞれの学年から、笑いあり、感動ありの出し物やプレゼントがあり、6年生も感慨ひとしきりでした。

最後に、6年生から、在校生や先生方に向け、歌と感謝のメッセージがあり、非常に心温まる会となりました。6年生は、卒業まで残り、7日。一日一日を大切に過ごしてもらいたいものです。



卒業式の練習、はじまる



10日後に迫った卒業式に向けて、卒業生、在校生の練習が佳境を迎えています。

卒業式の教育的ねらいを確認します。

（卒業生）これまでの学校生活を振り返らせ、お世話になった方々に対する感謝と敬意、母校に対する愛情の念を深めさせる。

（在校生）卒業生に感謝し門出を祝わせるとともに、諫早小学校の伝統を受け継ぎ、さらによ

い校風をつくっていかうとする自覚を抱かせる。

「自己理解・自律」「自己肯定」の能力を育む取組として、卒業式の練習に臨みたいと思います。6年生の皆さんは、健康管理を徹底し、全員揃って式当日を迎えてほしいと思います。



3.4 育友会「常任理事会」



3月育友会常任理事会を開催し、1年間の反省を話し合いました。会員の行事参加の在り方や会員間のつながり作りについて、意見を交換しました。

会員の皆様には、育友会活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

子どもがかく3つの汗



人間がかく汗は、暑いときや運動後にかく汗だけとは限りません。子どもがかく「汗」は、3つあると捉えています。その汗のかき方を鍛えていくことは、子どもの成長に必要不可欠なことだと思います。

【①「心」の汗】

どうしたんだろうと人のことを心配し、自分にできることはないかなと、思いを巡らすときにでる「心」の汗（思いやりや親切・共生の心・友情）

【②「頭」の汗】

学習に臨みながら、どうしたらいいかなと一生懸命に考え、自分の考えをまとめるときにでる「頭」の汗（勤勉、努力、強い意志）

【③「体」の汗】

自分の目標に向かって努力を重ねているとき、また人のためになることを、仲間と協力して活動するときでる「体」の汗（健康増進、不撓不屈、勤労、公共の精神）

アメリカの大学の「粘り強くがんばる子ども」についての研究です。

- 4才の子どもを20人くらい集めて、その子らの目の前においしそうなマシュマロを1個ずつ置き、「今すぐ1個のマシュマロを食べていいけど、15分間待てたら、マシュマロは2個食べさせてあげるよ。」と言いました。この4才の子どもたちはどうしたかというところ、3分の2の子どもたちが目の前にある1個のマシュマロを食べました。そして、残りの3分の1の子どもは我慢強く15分待ち、2個のマシュマロを食べたのでした。
- 10年以上経ってからの調査で、この子どもたちの成長の仕方と、幸福感の様子を調べたのですが、すぐに1個食べた子どもたちと、15分待って2個食べた子どもたちでは、はっきりとした違いがあったのでした。
- 我慢強く待った子どもたちは、高校で上位の優秀な成績を収めていたのです。自信にあふれて満足度も高く、問題解決能力もあって、苦しいことを乗り越えて目標を達成することができていました。この子どもたちの共通点は、大きな目標のためには、いろいろなやりたいこと、なまけたい心を我慢して、きつい時間を過ごす能力を持っていたことです。
- それに対して、1個だけのマシュマロに飛びついた子どもたちの特徴としては、強情で意地っ張り、それなのに他人の影響を受けやすく、決断力が弱かったのです。自分に自信がもてず、何にでも不満を持って文句ばかり言い、すぐにやる気をなくしやすい高校生になっていました。大きくなってからも、きついことが我慢できず、楽しいことや楽なことの誘惑に負けてしまいやすい人になっていたのです。言い換えれば、この子たちには、大きなご褒美をもらうためにじっくりと努力することよりも、今すぐに小さなご褒美をもらおうとする特徴があるということです。

「今、楽しいことをしたい」「今は楽がしたい」「今は、きついことは後回しにしたい」という気持ちは、「今がよければいい」ということです。将来的な、少し先の自分にとって、大きなご褒美をもらい、成功しようと思うならば、「今はきついことを我慢して頑張ろう」と考えなければなりません。つまり、今一生懸命に「汗」をかくことが自分の力を高め伸ばすことにつながるといえるでしょう。そんな汗をかける子どもいっぱいの子校にしていきたいです。